

教科	工業	科目	実習	単位数	4 単位	学年	2 学年
学科	機械造船科	コース	造船コース	教科書	機械実習 1、機械実習 2、機械実習 3（実教出版）		
副教材							
学習目標	実習の手順を理解し、自分の手足を動かし、実際に機械や器具を使って作業を行い、多くの科目に分かれている技術及びその科学的根拠を体験によって総合的に習得し、機械技術に関する科目の総合的な学習をすることと、機械技術者として望ましい態度や習慣を身に付ける。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知技	思考表	主体	
1学期	4月	1 溶接実習 (1) ガス溶接（突合せ継手） (2) ガス溶接（サイコロの製作） (3) ガス溶接（サイコロの製作） (4) プラズマ切断機の操作方法 (5) アーク溶接（マクロ試験）	・各種溶接機の手扱いや技能を習得することができる。また、溶接継手・溶接姿勢について理解している。	◎	○	○	
	5月						
	6月	2 旋盤実習 (1) 切削加工法・旋盤操作 (2) 正面切削 (3) 穴あけ・正面みぞ切削 (4) ローレット仕上げ (5) テーパー仕上げ・組立・仕上げ	・各種旋盤の要素作業を習得することができる。また、基礎的な工作測定の方法や安全作業について理解している。	◎	○	○	
2学期	7月						
	8月	3 MC実習 (1) NCとは (2) 工具交換 (3) 直線切削 (4) 円弧切削 (5) プログラム	・マシニングセンタの基本操作やプログラミングを習得することができる。また、図面からプログラム化する技能を身に付けている。	◎	○	○	
	9月						
	10月	5 特殊機械実習 (1) フライス盤作業のあらまし (2) 立フライス盤作業 (3) 横フライス盤作業 (4) 万能フライス盤作業 (5) 倣い旋盤作業	・各種機械の構造及び取扱いを理解しこれらの特徴を実習を通じて体得することができる。	◎	○	○	
3学期	11月						
	12月						
	1月	4 材料・流体実習 (1) 引張試験 (2) 衝撃試験 (3) せきによる流量測定 (4) せきによる流量測定 (5) 送風機の性能試験	・材料の諸性質を知るとともに試験機器の取扱いや試験方法を習得することができる。流体実験においてはいろいろな現象を具体的に観察することにより座学で学んだ基本的事項の理解をより深めることができる。	◎	○	○	
	2月						
	3月	※1班8名程度のローテーションで学習する。					

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	課題の完成度、レポート内容、出席状況に態度、服装等も加味した総合評価
------	------------------------------------